

横須賀が好き!



平成 29 年 2 月 10 日
教育委員会 2 月 定例会
報告事項 (5)
学校教育部 スポーツ課

平成 28 年度 横須賀市
児童生徒体力・運動能力、運動習慣等調査

報告書

平成 29 年 1 月
横須賀市教育委員会

～ 目 次 ～

第1章 調査結果の概要

1	体格	1
2	体力・運動能力	1
3	生活実態	4
4	実技調査の結果と質問紙調査の回答の関連	6

第2章 基礎集計

●	調査の概要	7
●	調査結果	
1	体格に関する調査結果	
	【資料1】体格に関する調査結果	11
2	実技に関する調査結果	
	【資料2】実技に関する調査結果	12
	【資料3】新体力テスト総合判定結果	14
	【資料4】新体力テスト総合判定不能者の割合	15
	【資料5】実技調査種目別度数分布表	
	①小学校 男子	16
	②小学校 女子	17
	③中学校 男子	18
	④中学校 女子	19
	【資料6】実技調査学年全体表	
	①小学校 第3学年	20
	②小学校 第4学年	21
	③小学校 第5学年	22
	④小学校 第6学年	23
	⑤中学校 第1学年	24
	⑥中学校 第2学年	25
	⑦中学校 第3学年	26
3	質問紙による調査結果	
	【資料7】質問紙調査集計表	
	①小学校	27
	②中学校	34
	【資料8】実技調査と質問紙調査クロス集計	
	①小学校 第3学年 男子	40
	②小学校 第3学年 女子	44
	③小学校 第4学年 男子	48
	④小学校 第4学年 女子	52
	⑤小学校 第5学年 男子	56
	⑥小学校 第5学年 女子	60
	⑦小学校 第6学年 男子	64
	⑧小学校 第6学年 女子	68
	⑨中学校 第1学年 男子	72
	⑩中学校 第1学年 女子	76
	⑪中学校 第2学年 男子	80
	⑫中学校 第2学年 女子	84
	⑬中学校 第3学年 男子	88
	⑭中学校 第3学年 女子	92

第1章 調査結果の概要

1 体格

【小学校】【中学校】

(1) 身長・体重

男女とも、全国平均値をやや上回る学年が多いが、ほぼ変わらない傾向である。

(2) 肥満及び痩身傾向児の出現率

肥満傾向は、男女とも、小学校6年生の出現率が最も高い。また、男子の方がやや高い傾向がある。

痩身傾向は、男子は小学校6年生と中学校1年生、女子は中学校2年生の出現率が最も高い。また、男女とも、小学校高学年から中学校1年生にかけて出現率の増加が大きい。

2 体力・運動能力

(1) 合計得点

【小学校】

- ・男女とも、全ての学年で全国の平均値を下回っている。
- ・平成27年度と比較すると、男女とも4年生と5年生で上昇している。

【中学校】

- ・男女とも、全ての学年で全国の平均値を下回っている。
- ・平成27年度と比較すると、1年生男女、3年生女子で上昇している。

(2) 各調査項目

【小学校】

・握力

男女とも、全ての学年で全国の平均値を下回っている。

・**上体起こし**

男女とも、全国の平均値と同水準かそれを上回っている。また、平成27年度と比較すると、上昇している学年が多い。

・**長座体前屈**

男女とも、低～中学年においては全国の平均値と同水準だが、高学年では下回っている学年が多い。

・**反復横とび**

男女とも、全ての学年で全国の平均値を下回っているが、平成27年度との比較では、特に女子において上昇が見られる。

・**20mシャトルラン**

男女とも、多くの学年において、全国の平均値を下回っているが、平成27年度との比較では、特に女子において上昇が見られる。

・**50m走**

男女とも、多くの学年において、全国の平均値を下回っているが、平成27年度との比較では、上昇が見られる。

・**立ち幅跳び**

男女とも、全国の平均値を下回っている学年が多いが、ほぼ同水準である。

・**ボール投げ**

男女とも、全学年で全国の平均値を下回っているが、特に女子において上昇が見られる。

【中学校】

・**握力**

男女とも、全ての学年で、全国の平均値を下回っている。

・**上体起こし**

男女とも、全ての学年で、全国の平均値とほぼ同水準である。平成27年度との比較では、1年生男女で上昇している。

・長座体前屈

男女とも、全国の平均値を下回っている学年が多い。平成27年度との比較では、1年生男女で上昇している。

・反復横とび

男女とも、全ての学年で、全国の平均値を下回っているが、平成27年度との比較では、上昇している。

・持久走、20mシャトルラン

男女とも、全ての学年で、全国の平均値を下回っているが、平成27年度との比較では、上昇した学年が多い。

・50m走

男女とも、全ての学年で、全国の平均値を下回っているが、平成27年度との比較では、上昇した学年が多い。

・立ち幅跳び

男女とも、全ての学年で全国の平均値を下回っている。特に3年生で、その差が大きい。

・ボール投げ

男女とも、全ての学年で全国の平均値を下回っているが、平成27年度との比較では、上昇した学年が多い。

(3) 総合判定

【小学校】

- ・ A～C判定の割合の合計は、男女とも全国の平均値を10～15%程度下回っているが、平成27年度との比較では、多くの学年で上昇している。
- ・ 全体で、4%程度の児童が、総合判定不能となっている。

【中学校】

- ・ A～C判定の割合の合計は、男子では全国の平均値を10～13%程度、女子では5～9%程度下回っているが、平成27年度との比較では、多くの学年で上昇している。
- ・ 全体で、10%程度の生徒が、総合判定不能となっている。

3 生活実態

(1) 運動部やスポーツクラブへの加入状況

【小学校】

- ・「運動部やスポーツクラブに加入している」と回答した児童の割合は、全体としては全国の平均値を上回っているが、男女でやや差が見受けられる。

【中学校】

- ・「運動部や地域スポーツクラブに所属している」と回答した生徒の割合は、全学年男女とも全国の平均値を下回っている。
- ・男子と比較して、女子の所属率が低い。

(2) 運動・スポーツの実施状況

【小学校】

- ・「ほとんど毎日運動する」と回答した児童の割合は、男女とも多くの学年において、全国の平均値を下回っている。

【中学校】

- ・「ほとんど毎日運動する」と回答した生徒の割合は、全学年男女とも全国の平均値を下回っている。
- ・「しない」と回答した生徒の割合は、全学年男女とも全国の平均値を上回っており、特に女子では全体の12%である。

(3) 1日の運動時間

【小学校】

- ・「1日に2時間以上運動する」と回答した児童の割合は、男女とも多くの学年において、全国の平均値を上回っている。

【中学校】

- ・「2時間以上運動する」と回答した生徒の割合は、全学年男女とも、全国の平均値を大きく下回っている。

(4) 朝食の摂食状況

【小学校】

- ・「毎日食べる」と回答した児童の割合は、男女とも多くの学年において、全国の平均値を下回っている。全国の平均値は、男女とも全学年 90%台であるが、本市は中学年・高学年が 80%台である。

【中学校】

- ・「毎日食べる」と回答した生徒の割合は、全学年男女とも全国の平均値を下回っており、全国平均が 80%台後半なのに対し、本市は 70%台である。

(5) 1日の睡眠時間

【小学校】

- ・「8時間以上の睡眠をとっている」と回答した児童の割合は、全国の平均値を上回っている学年もあるが、学年によって差が見られる。
- ・「睡眠時間が6時間より少ない」と回答した児童の割合は、男女ともほとんどの学年で全国の平均値を上回っている。

【中学校】

- ・「8時間以上の睡眠をとっている」と回答した生徒の割合は、男女ともほとんどの学年で全国の平均値を上回っているが、「6時間未満」と回答した生徒の割合も、全学年男女とも、全国の平均値を上回っている。

(6) 1日のテレビ等の視聴時間

【小学校】

- ・「3時間以上視聴している」と回答した児童の割合は、男女とも全ての学年において、全国の平均値を大きく上回っている。

【中学校】

- ・「3時間以上視聴している」と回答した生徒の割合は、全学年男女とも、全国の平均値を上回っている。

4 実技調査の結果と質問紙調査の回答の関連

(1) 生活実態との関連

【小学校】【中学校】

- ・「運動部・スポーツクラブへの所属状況」では、小学校・中学校ともに所属群の得点が高い。
- ・「運動・スポーツの実施状況（頻度・1回に行う時間）」では、小学校・中学校ともに高頻度群、長時間群の得点が高い。
- ・「朝食の摂取状況」と「1日の睡眠時間」においては、小学校では回答傾向によって得点の差が認められるが、中学校では大きな差は認められない。
- ・「1日のテレビ等の視聴時間」においては、特に中学校において回答傾向によって差が認められる。
- ・「食事の後は歯みがきをしているか」という設問に対し、小学校・中学校ともに肯定的な回答群で得点が高い。
- ・握力と長座体前屈の得点は、他の実技調査種目と比較して、生活実態の回答傾向による差が少ない。

(2) 運動やスポーツに対する意識との関連

【小学校】【中学校】

- ・「運動やスポーツが好きか」、「体力に自信があるか」、「運動やスポーツをすることは大切だと思うか」という設問に対し、小学校・中学校ともに、肯定的な回答群で得点が高い。
- ・「体育の授業は楽しいか」、「体育の授業で学んだ運動やスポーツの中で、大人になってもやってみたいと思ったものはあるか」、「体育の授業で、運動のコツやポイントをつかめているか」という設問に対し、小学校・中学校ともに肯定的な回答群で得点が高い。
- ・握力と長座体前屈の得点は、他の実技調査種目と比較して、運動やスポーツに対する意識の回答傾向による差が少ない。

●調査の概要

1 調査の目的

横須賀市立小学校及び中学校に在籍する児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、状況を把握する。また、調査結果を集計・分析したものを各学校や各個人へ還元するとともに、横須賀市として必要な健康・体力向上推進に関する施策の策定や、各学校の取り組みの工夫改善に役立てる。

2 調査の名称

「平成28年度横須賀市児童生徒体力・運動能力、運動習慣等調査」（以下「本調査」という）

3 調査の対象とする児童生徒

公立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象

(1) 小学校調査

小学校及び特別支援学校小学部第3学年、第4学年、第5学年、第6学年

(2) 中学校調査

中学校及び特別支援学校中学部第1学年、第2学年、第3学年

ただし、特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障害の状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断。

4 調査事項

(1) 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様。）

ア 小学校調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 中学校調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

5 調査実施日

(1) 実技調査実施期間

平成28年4月から7月末までの期間

(2) 質問紙調査実施期間

調査票到着から7月末までの期間

6 調査対象児童生徒数

(1) 小学校調査

- ・第3学年 (男子1,602人・女子1,569人 : 計3,171人)
- ・第4学年 (男子1,674人・女子1,540人 : 計3,214人)
- ・第5学年 (男子1,638人・女子1,523人 : 計3,161人)
- ・第6学年 (男子1,696人・女子1,629人 : 計3,325人)
- ・特別支援学校 (男子 13人・女子 17人 : 計 30人)

(2) 中学校調査

- ・第1学年 (男子1,755人・女子1,617人 : 計3,372人)
- ・第2学年 (男子1,754人・女子1,604人 : 計3,358人)
- ・第3学年 (男子1,826人・女子1,655人 : 計3,491人)
- ・特別支援学校 (男子 6人・女子 5人 : 計 11人)

7 調査の方法

- (1) スポーツ課から、調査票の回収及び調査結果の集計を、業者委託。
- (2) スポーツ課から、各小学校長・中学校長・特別支援学校長宛てに調査の実施と調査票の提出を依頼。
- (3) 各学校による調査の実施と調査票の提出。
- (4) 委託業者が回収した調査票から調査結果と電子データに整理し、スポーツ課へ提出。

8 調査結果に関する注意事項と説明

- (1) 本調査の集計・分析においては、回答の精査を行い、一部のデータは集計の対象外としてい

る。

- (2) 本調査の結果においては、平均値が必ずしも調査結果のすべてを表すものではなく、他の情報と併せて総合的に結果を分析し、評価することが必要である。
- (3) 実技調査と質問紙調査のクロス集計に関しては、必ずしも因果関係を示したものでないことに留意する必要がある。
- (4) 資料に記載している数値は、元の数値を四捨五入して示している。
小数第2位で示している数値 → 元の数値の小数第3位を四捨五入
小数第1位で示している数値 → 元の数値の小数第2位を四捨五入
そのため、同じ値を示していても、見た目上の数値が一致しない場合がある。
(例：元の数値「48.9588…」
→ 48.96 (小数第3位を四捨五入)、49.0 (小数第2位を四捨五入)
- (5) 資料に記載している百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (6) 資料における小学校第1学年及び第2学年の結果は、神奈川県調査の抽出校データから算出した。

<県調査対象> 小学校7校 (各学年 男女各16人 × 7校 = 112人)

データから母集団の姿を推測するとき、統計上95%以上の信頼度を得るためには母集団の1%のデータが必要であるとされるが、各学年の抽出人数は、母集団との割合において、95%の信頼度を得るための割合を上回っているため、使用することとした。

●調査結果

1 体格に関する調査結果

【資料1】体格に関する調査結果

2 実技に関する調査結果

【資料2】実技に関する調査結果

【資料3】新体力テスト総合判定結果

【資料4】新体力テスト総合判定不能者の割合

【資料5】実技調査種目別度数分布表

①小学校 男子

②小学校 女子

③中学校 男子

④中学校 女子

【資料6】実技調査学年全体表

①小学校 第3学年

②小学校 第4学年

③小学校 第5学年

④小学校 第6学年

⑤中学校 第1学年

⑥中学校 第2学年

⑦中学校 第3学年

3 質問紙による調査結果

【資料7】質問紙調査集計表

①小学校

②中学校

【資料8】実技調査と質問紙調査クロス集計

①小学校 第3学年 男子

②小学校 第3学年 女子

③小学校 第4学年 男子

④小学校 第4学年 女子

⑤小学校 第5学年 男子

⑥小学校 第5学年 女子

⑦小学校 第6学年 男子

⑧小学校 第6学年 女子

⑨中学校 第1学年 男子

⑩中学校 第1学年 女子

⑪中学校 第2学年 男子

⑫中学校 第2学年 女子

⑬中学校 第3学年 男子

⑭中学校 第3学年 女子